

中期アクションプランについて

1. 中期アクションプラン策定に係る考え方

第2期宇治市観光振興計画の基本理念「宇治のブランド力を未来へ織りなす」と、3つの基本方針「宇治を照らす～新たな魅力の発見～」 「宇治から広がる～広域交流の実現～」 「宇治でもてなす～おもてなし力の向上～」を土台とし、昨今の情勢や観光関連団体、事業者、市民の意見を踏まえたアクションプランを策定する。(別紙①)

2. 中期アクションプラン策定の体制

- ・策定委員会
- ・ワーキンググループの設置(別紙②)

3. 策定スケジュール(案) 別紙③

4. 観光動向と注目トピックス

①直近の情勢

<国内>

令和6年の消費額は25兆円で過去最高であったが、旅行人数はのべ5億4000万人とコロナ禍前の令和元年と比べて8.2%少なくなっている。(観光白書より)

<海外>

令和6年に日本を訪れた外国人旅行者は3,687万人で、消費額は8兆円余りといずれも過去最高となった。(観光白書より)

<京都府>

令和6年の観光入込客数は8,425万人であり、令和元年比113%であった。また、観光消費額は、2兆581億円であり、令和元年比155%であった。(令和6年京都府の観光入込客数及び観光消費額より)

<宇治市>

令和6年の観光入込客数は約614万人であり、過去最高となった。

大河ドラマ「光る君へ」の放送と放送に合わせた市内の取組およびインバウンドの増加が要因と考えられる。

②観光関連トピックス

- | | |
|---------|---|
| 令和6年 | 大河ドラマ「光る君へ」の放送を契機に「光る君へ 宇治 大河ドラマ展」をオープン
響け！ユーフォニアム3地上波放送
小倉エリアにニンテンドーミュージアム開館、黄檗山萬福寺が国宝指定 |
| 令和7年 | 関西万博開幕 |
| 令和8年 | 宇治川鶴飼100周年、平等院 観音堂の修理完了(予定)
「最終楽章 響け！ユーフォニアム前編」劇場上映 |
| 令和9年5月 | ワールドマスタースゲームズ2027 関西大会 |
| 令和10年 | 源氏物語ミュージアム開館30周年 |
| 令和10年以降 | 新名神高速道路の天津－城陽間の開通、京都市陽プレミアムアウトレット(仮)開業 |

5. 中期アクションプランの具体的な方向性

第2期宇治市観光振興計画策定時は、コロナ禍により、宇治に誘客することを最優先としていたが、現時点では約614万人の過去最高の観光入込客数となっている。

今後は、宇治の風光明媚な景観や居心地の良さを兼ねそろえた上質空間の創出と、リピーター増を目指すことを考える。

・主な重点的取組

①市内周遊性の向上(国宝萬福寺やニンテンドーミュージアムなど様々なコンテンツを活かす)

→観光動向調査より、宇治観光におけるリピーター率は57%、滞在時間は平均4.1時間であった。市内の多様な観光コンテンツと、商店街や観光事業者と連携し、エリア全体のにぎわいづくりを創出することにより、周遊観光を促進させ、宇治観光におけるリピーター増や、滞在時間を伸ばす

②宇治茶ブランドの魅力発信強化(宇治ならではの伝統的な市内産宇治茶のPR)

→来訪目的となっている「宇治茶(購入、体験)」「抹茶スイーツ」において、伝統的な栽培方法「覆下栽培」や、年に一度「手摘み」によって収穫される「一番茶」など、宇治茶ならではの魅力を体験や飲食等を通じ、お茶の京都エリアの起点としてPRすることで、宇治茶ブランドの魅力度を上げるほか、誘客促進や、消費額をあげる。

③安全で快適に観光できる環境の整備(ごみ対策、トイレ整備、マナー啓発で快適に)

→令和6年の宇治市観光入込客数は、過去最高の約614万人となり日々市内は賑わいを見せている一方、観光動向調査では「トイレ・ゴミ箱について」「交通状況」等のインフラ面で満足していただけなかった。誰もが安全で快適に過ごせる観光地を目指すため、観光地の整備に努め、観光客の満足度をあげるとともに、災害時の観光客の避難誘導方法、帰宅困難者支援の確立などに取り組む。